

市内活動グループ訪問記

ジャマシマ

星が丘鼓笛隊

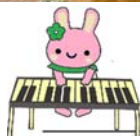
子どもたちの未来に続く体験を



冬の朝の冷たい空気の中、土曜日の星が丘小学校は静かです。でも、練習場所の体育館に入るとドラムのスティック音がカッカカッとリズムよく鳴り響いています。リズムを刻むのは指導の秋山里砂先生あきやま さん。変わっていく速さに合わせて横一列に揃えて歩く子どもたち。最後は走るような速歩になり、終わるとわっわと歓声上がる。体を温める歩行練習このことですが、7名とは思えないのびやかな活気が館内に溢れています。

「星が丘鼓笛隊」は創立23年目。上溝まつりや桜まつりなどのお祭りや地域の行事、市内の全鼓笛隊が集まるドリル大会や鼓笛まつりなどたくさんさんの場で練習の成果を発表しています。ボランティア協会とは昨年10月のほかほかふれあいフェスタの際にあじさい会館ホールで演奏していただいたのが縁です。

今日は新年最初の練習を中川さん、相馬さんお二人の保護者の方のご案内で見学です。



秋山先生は、市内のほかの鼓笛隊の指導を歴任なさってきた大ベテラン。演奏と曲に合わせてフオーメーション（隊列）移動をするドリルの指導をなさっています。

隊員は星が丘小だけでなく、作の口小、光が丘小、富士見小など市内の小学生。6年生で卒業ですが、練習にはOGの中高生が参加することもあってです。今日は2名休みで2年生から6年生まで総勢女子9名。休憩時間もいつの間にか全員で遊びはじめ仲の良いいつ。

練習は毎週土曜日の9時から13時、自主練習のあと、10時から全員で歩行練習。続いて曲を口ずさみながらドリルの練習です。縦に横に斜めにと並び位置を変えていくだけでなく、足元のステップもサイド、クロスと複雑なのに子どもたちは見事に進んでいきます。先生もきびきびと一緒に移動しながら声をかけています。曲終わりに全員で顔を上げてポーズを決めるのもかっこいい！

楽器編成は肩掛け型でスピーカーが付き、音色も変えられるキーボードをメインにクロッケンを加えてメロディパート、リズムパートはバスドラム、スネアドラム、大中小三連のトリオタムと多彩なドラム。正確なリズムが必須のドラムは全員6年生担当。どの楽器もそれなりの重量があり、体力も必要です。キーボードのスピーカーの真ん中にはかわいいベレーの隊員のイラストが。聞けば中川さんが作成した隊のマスケットシルとのこと。

かわるる！
隊員のイラスト

子どもたちに話を聞きました。
〇入ろうと思ったきっかけは？

・チリンを見て・友達に誘われて・お姉さんが隊員だった・練習が楽しかった

〇楽しみなことは？

・お楽しみ会・夏の合宿・みんなに会える練習・卒業してもOGとして練習に来る。

〇これからやりたい曲は？

・これはドラム主題歌、アニメ映画の曲など次々と

「ゆづり目の曲」など実際に踏まえた答えも。選曲も編曲もなる秋山先生はそばで聞きながら候補曲の検討です。

補曲の検討です。

秋山先生は子どもたちに混じると、若々しく背の高なお姉さんのようにしか見えません。「学校では味わえない体験をして、人生の経験値を高めてほしい」「卒業した子が結婚式に呼んでくれるそのまた子どもが入隊してくれることが嬉しい」とのお話には指導への深い思いが感じられました。自分も子どもの時、こんな鼓笛隊に入りたいかと思いましたが、

市内の鼓笛隊は子ども人数が不足。読者の皆様、小学生のお子さん、お孫さんがいらしたらぜひお近くの鼓笛隊へ入隊をお勧めください。

(荒谷・杉崎)

星が丘鼓笛隊

代表 高橋さん

LINE 公式アカウント

Email

Youtube アウト

<https://page.line.me/407xrrpc>

hoshigaoka.koteki.2024@gmail.com

<https://youtube.com/@星が丘鼓笛隊>

